

## 一般社団法人コミュニティシネマセンター

### 平成22年度(2010年度)事業報告

#### 1. 受託事業

##### (1) 全国コミュニティシネマ会議 2010 イン山口の開催 (文化庁芸術団体人材育成支援事業)

開催時期：2010年9月10日(金)～11日(土)

開催会場：山口情報芸術センター [YCAM]

「メディア芸術センター」としてのコミュニティシネマの可能性」をテーマとした。2001年の文化芸術振興基本法成立から10年を経て、「メディア芸術の振興」は現在最も重要な文化政策として注目されている。コミュニティシネマにとって、メディア芸術の振興はどのような意味を持つのか。基調報告では、地域の「メディア芸術センター」について、2つの具体的なプランが示された。ディスカッションでは、メディア芸術とは何かという基本的な問題から、具体的な国のメディア芸術振興策の現状、さらには地域のコミュニティシネマがその機能を拡大し「メディア芸術センター」となる可能性にいたるまで、様々なことが話し合われた。2日目は現在映画館で急速に進行しつつある“デジタル化”をテーマとした。デジタル化の進行の中で、クラシック作品をオリジナルのプリントで上映する環境を維持する必要性、またコミュニティシネマにとって最良のデジタルシネマ環境とはどういうものなのかということが話し合われた。参加者は200名を超え、『海炭市叙景』(シネマ・シンジケート作品)、『トラス・オス・モンテス』(ポルトガル映画祭2010)のプレミア上映にも多くの観客を迎えることができた。

##### (2) 地域における映画上映状況調査「映画上映活動年鑑2010」の発行

###### (文化庁芸術団体育成支援事業)

本調査は、2002年以降、隔年で実施しており、今回で6回目となる。2009年の全国の映画館における上映状況データを収集・分析、重点調査では、地域のメディア芸術センターとコミュニティシネマをテーマとした。主な内容は下記の通り。

###### 1. 地域における映画上映状況調査

###### 【1】分析

インディペンデント配給・興行の変化—1990年代～2010年

地域のミニシアターの現在

表 全国映画館 事業所・スクリーン数(都道府県別)(都市別)/ 全国映画館種別(都道府県別)(都市別)/ 全国上映作品分類別統計(都道府県別)(都市別)/ 封切作品公開率(都道府県別)(都市別)/公開率順位

###### 【2】都道府県別映画上映活動の現状

47都道府県全映画館の上映状況に関する詳細データ

添付資料 全国主要映画祭リスト/ 全国コミュニティシネマリスト/ 2008年、2009年公開作品リスト

###### 2 地域の「メディア芸術センター」とコミュニティシネマ

###### 【1】総論 対談:「メディア芸術とは何か」 藤幡正樹×島本浣

###### 【2】地域の「メディア芸術センター」プラン

【1】地域の「メディア芸術センター」とコミュニティシネマ

【2】モデルケース:川崎市アートセンター

【3】コミュニティシネマを内包したメディア芸術センターの可能性

###### 【3】資料

【1】文化庁のメディア芸術振興策

【2】全国コミュニティシネマ会議2010 イン 山口 ディスカッション採録

**(3) 優秀映画鑑賞普及推進事業**

東京国立近代美術館フィルムセンターが文化庁と共同で実施している「優秀映画鑑賞普及推進事業」(日本映画の名作4作品1パッケージ計 25 パッケージ 100 作品の全国巡回)の運営。2010 年度は全国 195 会場に巡回、のべ 96,335 人を集客した。

**(4) 映画上映専門家養成講座[シネマ・マネジメント・ワークショップ]の修了上映会の開催**

2009 年度に文化庁の支援を得て実施した「映画上映専門家養成講座」(共催:映画美学校)の、受講生による修了上映会を、アテネ・フランセ文化センターとユーロスペースで開催した。

**(5) 文化庁映画週間「シンポジウム—MOVIE CAMPUS—」への協力(主催:文化庁)**

東京国際映画祭開催期間中に行われる文化庁映画週間「シンポジウム—MOVIE CAMPUS—」に協力した。当センターでは、世界最大の映画館ネットワークであるヨーロッパシネマの活動、特にヨーロッパシネマが力を入れている映画教育(若い観客育成)プログラムを紹介するため、ヨーロッパシネマの理事であり、ユトレヒトの映画館「ヘット・ホーフ」のディレクターでもあるヘンク・キャンピング氏の招聘に協力した。シンポジウム終了後、コミュニティシネマセンター会員とキャンピング氏の交流の場を設けた。

**(6) 京都「駅ビルシネマ」の企画管理・運営**

2010 年 7 月 17 日より 12 月 19 日まで JR 京都駅屋上につくられる期間限定の映画館「駅ビルシネマ」の企画と運営を京都駅ビル開発から受託し、京都地区でのシネマテークあるいは名画座としての可能性を模索した。

プログラムは、主催者である京都駅ビル開発の意向を反映させた契約企画(フランス映画祭、イタリア映画祭など)とコミュニティシネマセンターが独自に企画する自主企画(大映シリーズ、ポルトガル映画祭 2010)で構成され、すべての企画の作品選定および劇場運営を当センターで行った。

特集上映の内容は下記の通り。

- ① ワールドシネマ—世界のこどもたち—(7 月 17 日～7 月 19 日・3 日間) 8 作品 動員:125 人
- ② 大映のヒロインたち(7 月 24 日～8 月 14 日・30 日間) 20 作品 動員:2100 人
- ③ フランス映画祭(8 月 29 日～9 月 12 日・16 日間) 29 作品 動員:2152 人
- ④ メキシコ・モザイク(9 月 15 日～9 月 19 日・5 日間) 11 作品 動員:413 人
- ⑤ 鉄道のある風景(10 月 5 日～10 月 19 日・15 日間) 18 作品 動員:1415 人
- ⑥ イタリア映画祭(10 月 23 日～11 月 7 日・16 日間) 26 作品 動員:1587 人
- ⑦ ポルトガル映画祭 2010(11 月 12 日～11 月 19 日・8 日間) 12 作品 動員:1039 人
- ⑧ 大映の巨匠たち(11 月 22 日～12 月 17 日・28 日間) 28 作品 動員:1885 人
- ⑨ ラストムービー(12 月 18, 19 日・2 日間) 3 作品 195 人

計 9 企画、123 日間 155 作品 動員:10911 人

企画により動員のばらつきはあったものの、第 2 回企画の「大映のヒロイン」の中盤から認知度もあがり中年配層を中心に動員し、常連客も増加した。しかし、学生層を中心とした若年層の動員には苦戦し、あらためて若年層の映画離れを認識した。

## 2. 自主事業

### 1. シネマ・シンジケート プロジェクト

#### (1) 選定・推薦作品

##### 加盟館製作『海炭市叙景』

2009 年初頭から制作へ動き出していた『海炭市叙景』は、2009 年全国コミュニティシネマ会議でシネマ・シンジケートでの配給が決まり、2010 年2月にクランクイン、6月に完成、10月の東京国際映画祭出品後、12月18日にユーロスペース、横浜ジャック&ベティ、川崎市アートセンターで公開された。全国53館で公開され6月17日現在で動員、35,191人、興行収入、43,172,019円、をあげることができた。北海道地区、東京メイン館を除くシネマ・シンジケート加盟館では39館、動員:15,050人、興行収入:17,600,000円。

##### 東京国際映画祭さくらグランプリ作品『ソフィアの夜明け』(原題:Eastern Plays)

2009 年東京国際映画祭グランプリ、最優秀監督賞、最優秀男優賞、3 冠受賞作品『ソフィアの夜明け』(監督:カメン・カレフ)を選定作品として巡回。6月17日現在、加盟館での動員3,618人、興行収入4,209,500円と低調な数値。公開も16館での上映に終わった。

##### 新人監督発掘プロジェクト「New Director/New Cinema」

新しい日本の映画監督を紹介するプロジェクト「New Director/New Cinema」の第一弾として真利子哲也監督『イエローキッド』(2010年1月～)を上映。加盟館20館で上映し、監督も大阪、京都、神戸、名古屋、仙台、山形、新潟へのキャンペーン、舞台挨拶に協力していただいた。数値的には加盟館で1,603,700円(全国興収426万円)と厳しい数値であったが、全国媒体への露出量は多く、存在感をアピールすることができたことは評価できる。第二弾作品は未定。

#### (2) 配給受託

##### クラシック作品、監督特集企画の配給受託

ローカル・エリアでも比較的安定した数字が見込め上映希望も多いクラシック作品、監督特集企画を配給受託。先年度の『バグダッドカフェ』『ヴィターリー・カネフスキー特集上映』に加え、IMAGICA TV「ブリジット・バルドー生誕祭」、マーメイドフィルム「イエジー・スコリモフスキ‘60年代傑作選」、アダンソニア+日本スカイウェイ「Ziggy Films ‘70s」(『バード・シット』『ハロルドとモード』)を配給。

#### (3) その他

##### 加盟館出資参加型の邦画または洋画の模索

川崎市文化財団(川崎市アートセンター)が KAWASAKI アーツ(KAWASAKI しんゆり映画祭)とともに権利を取得した『悲しみのミルク』について、コミュニティシネマセンターが権利購入手続きを行い、配給を東風、ホームビデオ・テレビ権ほかを日本スカイウェイが担当する形で委員会を組織し、シネマ・シンジケートとして配給に協力した。公開は2011年4月3日。

2011 年度は『海炭市叙景』に続く加盟館発信の邦画として、浜松での映画製作を現在調整中。

##### デジタル・オルタナティブ・コンテンツの提供

デジタル・オルタナティブ・コンテンツ(または ODS)の提供は実現できていないが、映画作品としては『イエローキッド』、『海炭市叙景』、『トスカーナの贋作』について、配給各社の協力を得てDCP素材を制作し、DLP 設置上映館には配信での素材提供を実施した。



## 2. シネマテーク・プロジェクト

### (1) 「日本ポルトガル修好通商条約 150 周年

#### ポルトガル映画祭 2010～マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち」

日本とポルトガルが近代的な外交関係を樹立して 150 年、2010 年にはこれを記念して様々な企画が実施されたが、シネマテーク・プロジェクトでは「ポルトガル映画祭 2010～マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち」を、東京国立近代美術館フィルムセンター、ポルトガル大使館と共同で開催した(2010 年 9 月 17 日～10 月 3 日)。東京での開催後は、珠玉のポルトガル映画 12 本を全国 10 会場(2010 年度 8 会場、2011 年度 2 会場)に巡回した。この映画祭のカタログ(B5 変形版 74P)も制作した。

フィルムセンターでは、7612 人を動員、1 回平均 205 人と大盛況となった。2010 年 2 月までに全国で 1 万人を越える観客を迎えることができた。

**主催:** 東京国立近代美術館フィルムセンター/ポルトガル大使館/一般社団法人コミュニティシネマセンター

**共同開催:** アテネ・フランセ文化センター(東京 2011 年度)/せんだいメディアテーク(仙台市)/川崎市アートセンター(川崎市)/ 金沢 21 世紀美術館(金沢市)/ 神戸アートビレッジセンター(神戸市)/ 広島市映像文化ライブラリー(広島市)/ 山口情報芸術センター(山口市)/ 高知県立美術館(高知市)/ 福岡市総合図書館(福岡市 2011 年度)/京都「駅ビルシネマ」

#### 巡回作品:

アニキ・ボボ(マノエル・ド・オリヴェイラ/1942 川崎市市民ミュージアム所蔵)  
 春の儀式(マノエル・ド・オリヴェイラ/1963)  
 過去と現在 昔の恋、今の恋(マノエル・ド・オリヴェイラ/1972 川崎市市民ミュージアム所蔵)  
 カニバイシュ(マノエル・ド・オリヴェイラ/1988 川崎市市民ミュージアム所蔵)  
 神曲(マノエル・ド・オリヴェイラ/1991 川崎市市民ミュージアム所蔵)  
 黄色い家の記憶(ジョアン＝セザル・モンテイロ/1989)  
 ラスト・ダイビング(ジョアン＝セザル・モンテイロ/1992 当センター所蔵)  
 神の結婚(ジョアン＝セザル・モンテイロ/1999 当センター所蔵)  
 トラス・オス・モンテス(マルガリータ・コルデイロ、アントニオ・レイス/1976)  
 骨 (ペドロ・コスタ/1997 当センター所蔵)  
 私たちが好きな八月(ミゲル・ゴメス/2008 )

### (2) 「生誕百年記念山中貞雄監督特集」(共催:東京国立近代美術館フィルムセンター)

2009 年 12 月より、山中貞雄監督作品の『丹下左膳余話百万両の壺』『河内山宗俊』『人情紙風船』に関連作品 4 本(『水戸黄門血刃の巻』(FC提供)『大菩薩峠 甲源一刀流の巻』(FC提供)、『戦国群盗傳』『その前夜』)を加えた 7 作品を巡回、2011 年 1 月までに 18 会場に巡回。全国で約 6000 人の観客を迎えることができた。

## 3. 映画の巡回/特集上映会の開催

### (1) 特集上映「ヤスミン・アフマド監督特集」

#### (共催:アテネ・フランセ文化センター 特別協力:国際交流基金、東京国際映画祭)

2010 年 8 月 21 日(土)～8 月 28 日(土)、アテネ・フランセ文化センターにて、表記の上映会を開催、2009 年 7 月に急逝したマレーシア映画の牽引者ヤスミン・アフマド監督全長編 9 作品を上映、8 日間で 1213 人の観客を得ることができた。この後、国際交流基金の上映期限が切れている『ラブン』『細い目』『グブラ』と、東京国際映画祭がプリントを保有している『ムアラフ』については、国内上映権を取得した。



**(2) 所蔵フィルムの巡回、外国映画の巡回への協力など。**

**ジャック・ロジエ監督特集**

アウラ配給の「ジャック・ロジエ監督特集」(『アデュー・フィリピーヌ』『オルエットの方へ』『メーヌ・オセアン』、短編集)の巡回に協力した。

このほか、当センターが保有するフレデリック・ワイズマン監督作品などの貸出、国際交流基金提供の外国劇映画の巡回への協力を行った。

**4 その他の事業**

**(1) ウェブサイトの運営、会員制度の充実など**

ウェブサイトを2010年夏に全面改編、会員制度のさらなる充実を期した。

2010年度の会員数は 団体(正)会員=67 個人(準)会員=15 賛助会員(個人)=5人

平成22年度 貸借対照表  
平成23年3月31日現在

一般社団法人 コミュニティシネマセンター

(単位:円)

| 科目                | 当年度        | 前年度        | 増減         |
|-------------------|------------|------------|------------|
| <b>I 資産の部</b>     |            |            |            |
| 1流動資産             |            |            |            |
| 現金預金              | 2,347,044  | 2,549,290  | -202,246   |
| 未収入金              | 24,589,510 | 20,718,913 | 3,870,597  |
| 仮払金               | 291,400    | 122,880    | 168,520    |
| 貸倒引当金             | -150,000   | -136,000   | -14,000    |
| 流動資産合計            | 27,077,954 | 23,255,083 | 3,822,871  |
| 2固定資産             |            |            |            |
| 器具備品              | 76,533     | 0          | 76,533     |
| フィルム              | 495,321    | 0          | 495,321    |
| 上映権               | 2,511,278  | 0          | 2,511,278  |
| 有形固定資産合計          | 3,083,132  | 0          | 3,083,132  |
| 固定資産合計            | 3,083,132  | 0          | 3,083,132  |
| 資産合計              | 30,161,086 | 23,255,083 | 6,906,003  |
| <b>II 負債の部</b>    |            |            |            |
| 1流動負債             |            |            |            |
| 短期借入金             | 200        | 1,039,518  | -1,039,318 |
| 未払金               | 34,122,533 | 20,051,362 | 14,071,171 |
| 預り金               | 1,053,684  | 627,211    | 426,473    |
| 未払法人税等            | 70,000     | 464,700    | -394,700   |
| 流動負債合計            | 35,246,417 | 22,182,791 | 13,063,626 |
| 負債合計              | 35,246,417 | 22,182,791 | 13,063,626 |
| <b>III 正味財産の部</b> |            |            |            |
| 1一般正味財産           | -5,085,331 | 1,072,292  | -6,157,623 |
| 正味財産合計            | -5,085,331 | 1,072,292  | -6,157,623 |
| 負債及び正味財産合計        | 30,161,086 | 23,255,083 | 6,906,003  |

平成22年度 正味財産増減計算書  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

一般社団法人 コミュニティシネマセンター

(単位:円)

| 科目             | 当年度         | 前年度        | 増減         |
|----------------|-------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部   |             |            |            |
| 1 経常増減の部       |             |            |            |
| (1) 経常収益       |             |            |            |
| 受託事業収入         | 19,378,614  | 19,731,180 | -352,566   |
| 自主事業収入         | 81,128,120  | 55,545,141 | 25,582,979 |
| 経常収益計          | 100,506,734 | 75,276,321 | 25,230,413 |
| (2) 経常費用       |             |            |            |
| 給与手当           | 15,527,900  | 18,839,627 | -3,311,727 |
| 雑給             | 4,721,776   | 520,500    | 4,201,276  |
| 法定福利費          | 2,048,638   | 1,667,307  | 381,331    |
| 福利厚生費          | 30,161      | 62,641     | -32,480    |
| 荷造運賃           | 2,122,345   | 973,252    | 1,149,093  |
| 減価償却費          | 2,433,819   | 0          | 2,433,819  |
| 修繕費            | 115,305     | 25,790     | 89,515     |
| 事務用品費          | 1,613,242   | 1,284,492  | 328,750    |
| 消耗品費           | 244,917     | 0          | 244,917    |
| コピー料           | 0           | 160,000    | -160,000   |
| 広告宣伝費          | 2,395,963   | 920,695    | 1,475,268  |
| 水道光熱費          | 330,416     | 80,000     | 250,416    |
| 旅費交通費          | 4,116,932   | 2,126,360  | 1,990,572  |
| 映画料            | 49,289,550  | 34,749,127 | 14,540,423 |
| 手数料            | 972,763     | 565,695    | 407,068    |
| 租税公課           | 56,765      | 78,100     | -21,335    |
| 交際接待費          | 62,626      | 59,970     | 2,656      |
| 保険料            | 89,370      | 431,080    | -341,710   |
| 通信費            | 432,767     | 441,697    | -8,930     |
| 新聞図書費          | 297,617     | 22,299     | 275,318    |
| 地代家賃           | 0           | 1,120,000  | -1,120,000 |
| 会議費            | 1,821,065   | 2,953,793  | -1,132,728 |
| 業務委託費          | 17,033,713  | 4,805,723  | 12,227,990 |
| 保管料            | 628,311     | 1,517,017  | -888,706   |
| 貸倒引当金繰入        | 14,000      | 136,000    | -122,000   |
| 雑費             | 216,129     | 198,792    | 17,337     |
| 経常費用計          | 106,616,090 | 73,739,957 | 32,876,133 |
| 2 経常外増減の部      |             |            |            |
| (1) 経常収益       |             |            |            |
| 受取利息           | 843         | 782        | 61         |
| 雑収入            | 20,890      | 0          | 20,890     |
| 経常外収益計         | 21,733      | 782        | 20,951     |
| 税引前当期正味一般財産増減額 | -6,087,623  | 1,537,146  | -7,624,769 |
| 法人税等           | 70,000      | 464,854    | -394,854   |
|                |             |            | 0          |
| 当期正味一般財産増減額    | -6,157,623  | 1,072,292  | -7,229,915 |
| 正味一般財産期首残高     | 1,072,292   | 0          | 1,072,292  |
| 正味一般財産期末残高     | -5,085,331  | 1,072,292  | -6,157,623 |
|                |             |            | 0          |
| II 正味財産期末残高    | -5,085,331  | 1,072,292  | -6,157,623 |



## 個 別 注 記 表

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

この計算書類は、公益法人会計基準及び公益法人会計基準の運用指針によって作成しています。

#### 1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法

#### 2. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

#### 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### II. 関連当事者との取引に関する注記

#### 1. 代表理事が議決権の過半数を所有している会社等

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| ①法人等の名称   | 有限会社ユーロスペース                    |
| ②住所       | 東京都渋谷区円山町                      |
| ③事業の内容    | 映画興業                           |
| ④議決権の所有割合 | 0%                             |
| ⑤役員等の兼務等  | 兼任 1 名                         |
| ⑥取引の内容    | 業務委託等                          |
| ⑦科目及び残高   | 未収入金 450,000 円 未払金 2,617,785 円 |